

株式会社弘和テック

材料や工具、備品の在庫管理は重要であるも、現状はアナログな紙運用であった しかし、正確な運用が実現できておらず、実在庫と管理数値に乖離が生じていた

株式会社弘和テック 実証結果【1/4】

企業概要

- 企業名
株式会社弘和テック（愛知県あま市 / 長野県飯田市）
- 社長
林 俊信
- 概要
 - 航空機や医療機器、半導体における精密機械部品加工を実施
 - お客様に喜ばれる製品をスピーディーに提供している会社であり、試作品から量産品まで一貫生産を行い弊社独自の技術を日々進化させている
 - 変化に対応し世の中から必要とされる社会貢献できる会社として企業価値を高めている

デジタル化推進の背景

- 材料や工具、備品の在庫管理は重要であるも、現状は紙運用であり、正確に記入されていないため、在庫と紙の数字が合っていない
- 生産管理として在庫管理は試行錯誤したが、なかなかうまく行かず、デジタルツールを活用した解決を目指したい
- 特に、刃具などの在庫管理がきちんとできていない。そのため、必要な時に在庫が無い場合もあり、その場で発注する事態が生じている。結果として、生産にも支障が出ており、改善を目指したい
- 在庫管理については社内への意識付けが乏しく、作業者のマインドが醸成できていない。デジタルツールの運用を通して、全社に在庫管理に対する意識醸成をさせたい

導入ツール



- クラウド型の在庫管理システムである「eeeCloud」を導入し、アナログな在庫管理をデジタル化した
- 刃物の管理が行き届けておらず、刃具在庫状況がリアルタイムで確認できていなかったため、見える化を目指した
- 材料在庫や仕掛品在庫もアナログな管理をしており、リアルタイムな在庫状況を全体で見られるように進めた



材料・刃具在庫のリアルタイム管理を目指し、デジタル化を推進した 在庫管理に対する社内の仕組みも構築して、取組を実施した

株式会社弘和テック 実証結果【2/4】

モデル実証を通じて解決を目指した課題

材料・工具在庫のリアルタイム管理

- 在庫管理については紙媒体を活用したアナログ管理を実施していたが、記入漏れ等が発生し、実態を把握できていなかった
- 特に部品加工に用いる刃具の在庫管理が適切に運用できておらず、所定の置き場で管理しているが、使用履歴を残さず自由に現場へ持って行ける状態になっていた。そのため、必要な時に使えない状況が度々発生していた
- 結果として、必要な時に在庫が無かったり足りなかったりする事態が発生し、作業が出来なくなってしまう場面もあった

在庫管理に対する従業員の意識向上

- 社内の在庫に対する管理意識が徹底されておらず、使用した工具を置き場に返すことが遅れたり、在庫がなくなった場合にアナウンスすることが出来ていなかった
- 小ロット多品種の加工を実施しているため、都度変わる仕様や条件に柔軟な対応が求められる中、在庫管理意識への教育が行き届けていなかった

課題解決に向けた取組内容

刃具・半導体の在庫状況をデジタル化によるリアルタイム確認

-刃具-

- eeeCLOUDへ刃具の一部を登録することで、使用前後の情報を電子データ上で管理し、リアルタイム管理を目指した
- 使用している刃具は多くの種類があり、規格の大小あるため、管理しやすいものから優先的にeeeCLOUD上で在庫管理を行った

-半導体-

- アナログ的に管理していた半導体在庫の入出庫について、eeeCLOUDを活用したデジタル管理を目指した

在庫管理に対する仕組みの構築

- 社長を中心にしつつ、eeeCLOUDの担当人員を配置。従業員の意識教育だけでなく、社内の仕組みとして在庫管理を徹底させた

取り扱い点数の多い工具などは優先順位を付けた導入を実現 在庫のリアルタイム情報把握によって、加工・発注機会ロスの可能性が低減した

株式会社弘和テック 実証結果【3/4】

実証時に感じた壁および克服のためのアクション

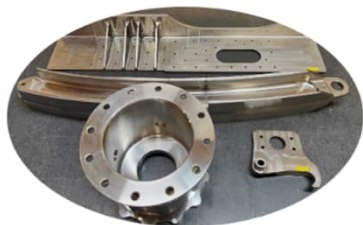
煩雑な刃具在庫管理の見直し

- 管理している刃具は数百種類ほどあり、且つ小さいものから大きいものまで規格もバラバラであった。すぐ取り出せる場所に保管しているものもあれば、そうでないものも混在しており、eeeCLOUDへの登録に係る労力が膨大になっていた
- そのため、実証期間は管理する刃具を限定的にし、使用頻度の高いものから優先順位をつけて運用した

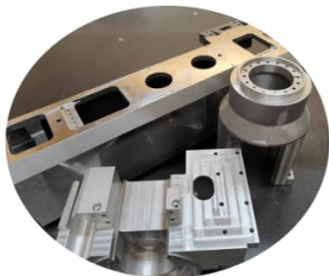
材料在庫から完成品在庫への切り替え

- 材料在庫として管理している半導体は、工程が進むことで仕掛品在庫へ変化していく。この変化もしっかり管理できるようeeeCLOUD内に枝番を設定し、完成品在庫までの推移が分かるようにした

薄肉難削材



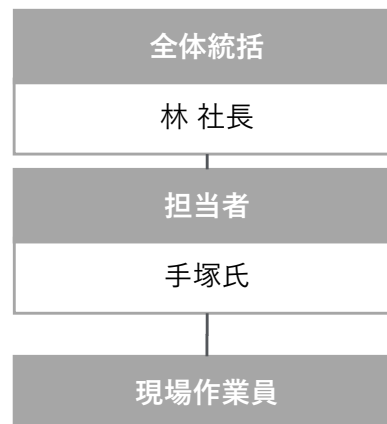
半導体部品



脊椎用インプラント



実証体制



- 林社長が中心となり、eeeCLOUDの導入を推進した
- 担当者として手塚氏がeeeCLOUDの実行・管理を進め、取り組みを推進した

取組の成果

刃具・半導体在庫のリアルタイム把握

- 在庫情報をデジタル化することによって、リアルタイムな情報把握を実現した
- 在庫のリアルタイム情報把握によって、在庫を切らしてしまうことがなくなり、加工・発注機会ロスの可能性が低減した

一部在庫のデジタル化は実施できたものの、まだ全体としては紙などでアナログ管理を実施している。そのため、幅広い在庫管理をデジタル化できるよう検討する

株式会社弘和テック 実証結果【4/4】

今後の課題・目標

幅広い在庫の管理

- 実証期間は刃具と半導体在庫の一部を管理した。ただ、まだ全体としては紙などでアナログ管理を実施しているため、幅広い在庫の管理をデジタル化できるよう検討する

社内業務のデジタル化推進

- 今回の実証では、アナログ的な在庫管理をターゲットとしてデジタルツールを導入した。実証を終えてみて、デジタルツール導入により前向きな結果を得られたため、今後も社内業務のデジタル化を推進したい

(デジタル化を推進する他企業への) 示唆



代表取締役
林 俊信 氏

- 今回の実証実験
eeeCLOUDの在庫管理システムを使用した。
- 現状の管理
弊社は作業指示書という独自の書式を使い工程ごとに作業者がサインする仕組みで、受注から出荷まで管理している。製品の品番ごとに工程が異なる。これを社内データベースで使用設備と作業工程を管理している
- 使用した感想
弊社は受注から出荷まで多くの工程をまたぐ。その為このソフトを活用するには各工程ごとに完結しなければならない。ソフトを活用するには、品番を変えたバーコード作る必要がある。製品が移動する毎に品番を変えたバーコードを読ませないといけない
- 今後のDXに向けた取組
現状のアナログな取組を改革し、よりブラッシュアップすることでデジタル化していく。アナログで運用できる仕組みの構築が大切なので、アナログの段階で改善を重ねる。社内のPJチームでどこから進めるか検討する